



World Supersport Championship round - 1 Australian Phillip island February 28

大久保光一予戦 19 番手 決勝リタイヤ

World Supersport Championship (WSS) の 2016 シーズンが開幕しました。第一戦は、2月28日オーストラリア、フィリップアイランドで行われ、初参戦となる大久保光は、予選 19 番手からスタートし 3 ラップ目にリタイヤという苦いスタートを切りました。転倒直後は、右手小指骨折の他、骨盤骨折との情報も流れ心配をかけましたが、幸い、骨折は右手小指のみで、骨盤に関しては打撲との診断。帰国し治療に当たり、次戦へと備えることになりました。

大久保は 2 月 19 日に日本を出発しチームと合流、22 日 23 日の 2 日間のテストに参加しました。チーフメカニック、コール（オランダ・41）は、ワールドスーパーバイクのトップチームであるテンケートに所属していたメカニックです。もう 1 人のメカニックは、チームオーナー、サイモン・バグマスターの息子であるジョージ（22）。コミュニケーションに不安を抱いていた大久保ですが、大きな問題なくスムーズにレーススケジュールを消化、チームオーナーが「ここまで走れるとは思わなかった」と驚くほどの走りを見せます。それでも目標であったスーパーポールに残ることが出来ずに予選 19 番手。ですが、決勝では追いつきの手応えを得てグリッドに並びました。追いつきの最中、3 ラップ目の 11 コーナーで、まさかの転倒、転倒原因については、調査中で、次戦までに解決し、期待に応えるレースをと誓っております。

大久保光

「初めてのレース、チーム、マシン、コースに、実は、不安を感じていましたが、事前テストで走り始めると、不安は、すぐなくなりました。全てが挑戦という環境が、とてもやりがいがあり、どうしたら、自分のレベルを上げ、タイムを上げ、勝負できるのかと考えることが、本当に楽しく、ここを走らせてもらえる環境を整えてくれた全ての人に改めて感謝することになりました。お世話になった小原監督がレースウィークには駆けつけてくれました。それなのに予選ではうまくタイミングが掴めず、経験の差が出てしまいスーパーポールに残ることが出来ませんでした。悔しい思いを決勝で晴らしたいと思っていたのですが、思いがけない転倒、ケガもあり最悪の結果に終わりました。本当に申し訳なく思っています。それでも、次戦に向けて気持ちを切り替え、開幕戦での経験を生かして勝負したいと思っています。まだ、何も結果が残っていないのに、大口を叩くようですが、やれる手応えを感じています。僕を応援して良かったと思ってもらえるように、これまで通り、それ以上に頑張ります」

○次戦は 3 月 13 日タイで開催されます。また、報告させていただきます。

※アドレスとクリックして頂きますと、メールが立ち上がるようになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい。取材対応などもさせていただきますので、よろしくお願い致します。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

